



今月の一枚

牧野篤先生を迎えて教化検討委員会（7月29日、順慶寺本堂にて 岡川経康氏撮影）

◆◆ 教化検討委員会 ◆◆

順慶寺には、寺の護寺を総代を中心に活動する護寺会と、月例会や講座などのリーダーが集まる教化委員会がある。寺の護寺は三年任期で総代があたり多くの意見を取り入れ、教化はリーダーである教化委員が継続的に事業を行う。現在、コロナ禍で一層の教化検討が望まれている。

順慶寺だより



印刷・発行 順慶寺
2021年(令和3年)

9月号

VOL.335

◆ 欲のままでは牛になる ◆

今月の釈尊の言葉は、『ダンマパダ』より、
「学ぶことの少ない人は牛のように老いる。
肉体は肥えるが
智慧は成長することはない」(第一五二偈)
から引用しました。

昨今、コロナの影響で、運動不足になっている方も多いのではないでしょうか。運動不足になると、血液などの循環が悪くなり体調の維持も難しくなります。「食べたらずく寝ると牛になるよ」といわれ、昔から戒められています。

最近よく話題になる、将棋の棋戦で対局者が注文する「勝負めし」。対局中、体をほとんど動かすことがないのに、かなりのボリュームの定食などを注文しています。聞くところでは、将棋の棋士は、一局の対戦を終えると体重が二〜三キロも減ることがあるそうです。頭を使うことは、大きなエネルギーが必要なようです。

一方、南方仏教の修行僧は、午前中に托鉢に出て、托鉢で頂いたものを①お齋として頂き、

◆ 智慧をいただく ◆

お非時というのを聞いたことがあるでしょうか。お非時とは、修行僧が食事をとってはいけません。午後には食事をして口を閉じて瞑想に耽ります。そもそも牛は、草などの繊維質の餌を長い時間をかけて食べ、それを消化させるため、口と胃を何度も往復させ、横になって必要な栄養分を得るためでした。怠慢ではありません。

ときに私たちは、必要以上の栄養をとって、思わず横になってしまうので栄養過多になる。欲のままでは牛の姿になってしまいます。

若院のテーマカット NO.29

今月のブツダの言葉

学ぶことの少ない人は牛のように
肉体は肥えるが智慧は成長しない

けない時間に食事をたべることで、食事などの際、法要が終わった後の食事はこのお非時ということになります。

このお非時について、親鸞聖人の有名な伝説(『口伝鈔』八)があります。

かつて、親鸞聖人が関東におられたころ、時の執権・北条氏から一切経を照合する仕事を引き受けました。多くの高僧が北条氏の館に呼ばれ、任にあたる中、お非時の時間もありませんでした。北条氏から振る舞われる料理は、高級なものばかりで、魚や肉も使われていました。その際、ほとんどの僧侶は、袈裟を脱いでお非時につきましたが、親鸞聖人ひとり袈裟を脱がすお非時についていたそうです。これに北条氏の九歳になる嫡男が、「他のお坊さんはみな袈裟を脱いで食事をされているのに、どうしてあなた

なたは脱がないのですか」と質問すると、親鸞聖人が、「急いで食事についていたので」と。その場を繕って、バカにされたと思つた嫡男が「子供だと思つて本当のことを話さないのだから」と腹をたて、何度も同じことを聞いてきました。

あまりにしつこいので、ついに嫡男と真向かいになって、「たまたま人間として生まれたご縁で、仏縁をいただくものが肉食をするのはよろしくないと言われてます。しかし、袈裟をきて食事をするので、食される命も仏縁にあつたことができ、衆生を利することができた喜びとなります」と応えたそうです。

私たちの日常の食事でも、食される命に感謝しつつ、お念仏を称えておかげさまのお智慧をいただくご縁となれば幸いです。

①【お齋】

古来仏教では、正午の食事の称、朝食を粥と呼ぶのに対し、昼食を齋と称する。日本では、すべき時の食事の意から齋にとき(時)のよみを当てて、正午以前の食事の称とした。もと、インドの仏教徒は午後には食事をしないという戒律を守っていたことに由来する。また転じて、広く仏事の際の食事をさす称。これを敬語で、おときともいう。

②【口伝鈔】

親鸞聖人の曾孫で本願寺第三代の覚如上人が、元弘元年(一一三三)親鸞聖人の教えが法然上人の門下で正統であることを顕彰された。「口伝」とは、口づてに伝えるという意味。覚如上人が、親鸞聖人の孫で伯父にあたる如信上人より口授された教義を記したことから、この名が付けられた。親鸞聖人の法語や行実を二十一ヶ条にまとめ、上中下の三巻からなる。

念仏を飲む人
妙好人の世界
[第108回]
《味おうてくれ》
ものだねきちべえ
物種 吉兵衛
(16)

《心からのおつとめ》

堺の妙好人・吉兵衛。西方寺の元明氏について、仏法聴聞に励み、佛法を慶びました。あるとき、吉兵衛のお仏壇が汚れて破損してきたので、近くの塗師屋にお仏壇を持っていきましました。その間、お仏壇の中にある御本尊さまは、粗末な押入の粗壁におかけしてお敬いをしていました。そうこうしているうちに、御本尊さまも表具をすることになり、京都の表具師に預けることになりました。

今度は、仏壇も御本尊も修復に出してしまつたので、吉兵衛の家にはお敬いするものではありません。すると吉兵衛は、今まで御本尊さまがかかつていたところに向かつて、正信偈、御和讃、御文章(御文)を頂いて、毎朝毎晩丁寧にお勤めを続けたといいます。それを見ていた、清次郎という同行が、「私は、このお方は、正信偈、御和讃、御文章を本当にいただいておられるお方や、とおもつた」としみじみ語つたといいます。

このところ、仏壇仕舞いという言葉がしばしば使われますが、仏壇をしまふということは、それまであつたご縁をすべて引き継いで、仏壇がなくてもご縁を結ぶことができることだとしみじみ感じます。

《第十七回 物をよめ》

「蓮如上人、幼少なる者には、まず、「物をよめ」と、仰せられ候う。」
これは蓮如上人の『御一代記聞書』(二二五)の言葉です。
この条では、学び始めのものは何よりも聖教をよめ、と諭されています。
最近父に言われ、しぶしぶお経の練習をしているのですが、蓮如上人の時代からお経をよむことを大切にされてきたこと気づかされる一文です。
お経をながしるにしないように練習をしなければ、と思われました。

お寺とともに
雨のお盆



今年のお盆は、雨のお盆となりました。

このところ、お盆と言えば、酷暑の真っ直中。三十五度を越えるような大変な暑さの中、朝早くから真夏の太陽に蝉時雨。それから熱せられた墓石の遠赤外線効果。各お家の方々が、お寺にあるお墓に來られ、掃除とお参りに精を出され、先祖の皆様に対する礼を尽くされます。

それが、今年、前日からの雨に加え、十三日にはまるで台風のような土砂降り。それでも、大勢の方がお墓参りに來られ、全身ずぶ濡れになりながらも何とかお参りされて行かれる方もあり、心より感服いたしました。

お盆のお墓参りは、年々過酷さを増し、昨年からコロナ禍で一層大変になっています。しかしながら、お盆が終わるころには、変わらず見事にお花が並びます。その光景を見て、「今年残り半分頑張ろう」と元気づけられました。



順慶寺執事

法名並びに名簿一覽

祠堂新規上納者並びに俱会一処該当事

来たる九月十二日(日)に順慶寺において、秋季永代経(過去五十年間に祠堂金をあげて下さった方々への法要)が開催されます。また、当日、今年五十回忌を迎えて、当山に納骨された方々の俱会一処式も行います。

昨年度(令和二年度)令和二年九月より令和三年八月、新たに祠堂金を順慶寺にお上げ下さり、御紐解き法要(祠堂開き)を執行させていただいた方々(または執行予定の方も含む)は、以下の通り。

新規祠堂上納者一覽(敬称略)

- 為 滋栄院釋敏応 横山敏行
願主 横山孝二(今川東組)
為 釋實教 横山 實
願主 横山 貴(山ノ端組)
為 誠実院釋正業 加藤正己
願主 加藤 泉(高畑組)
為 精明院釋増修 荒川増吉
願主 荒川園子(豊田市)
為 謙敬院釋勇導
願主 岡本和重(市場下組)

為 晴朗院釋興世 清水與亞

願主 清水英介(平松組)

為 瑞星院釋響仁 岡本直人

和敬院釋弘寛 岡本价弘

願主 岡本 誠(大久屋組)

為 翠紫院釋尼清香 岡川清美

願主 岡川一夫(泉田西組)

為 釋尼淨念 近藤とき

釋孝純 近藤孝雄

願主 近藤かねみ(高畑組)

為 聞信院釋広大 神谷 弘

願主 神谷友裕(西念寺門徒)

為 觀春院釋真道 鬼頭春一

願主 鬼頭哲春(市場上組)

為 静風院釈尼妙鶴 塚本多津

願主 塚本勝美(名古屋市)

為 常和院釋尼妙富 清水フジノ

願主 清水清隆(平松組)

以上十三件

◎祠堂金は、三分の二を順慶寺の什物拡充などに充てさせていたいただき、三分の一を護寺会金として、護寺会会計に積立をさせていたたいています。

以下は、本年五十回忌(昭和47年没)で俱会一処を迎えた方の中で、当山納骨堂に納骨されたことが確認された方々です。

俱会一処該当事一覽(敬称略)

- 2月3日 小羽一志 小羽志郎の子
3月3日 広住純一郎 広住碩彦の父
4月3日 横山抄千代 横山義雄の孫
4月7日 杉浦貴末 杉浦八郎の父
4月15日 酒井さだ 酒井二三の母
4月15日 平野きしの 平野恒男の祖母
5月4日 加藤ふく 加藤優の母
5月26日 岡本念一 岡本博和の父
5月27日 都築りき 都築由元の母
7月5日 久野長松 久野富士子の父
7月7日 岡本トシエ 岡本泰造の母
7月28日 相木 理 相木銀市の母
8月3日 相木国正 相木正則の父
8月13日 岡本定喜 岡本恒男の父
9月4日 志水じゅん 志水正和の母
9月20日 杉浦高義 杉浦貞雄の父
9月23日 岡本あさ 岡本 清の母
10月31日 杉本真由美 杉本親相の娘
12月1日 山本さくの 山本武雄の母
12月29日 山本ますゑ 山本幸平の養母
12月31日 鈴木よね 鈴木基晴の養母
以上二十一名

8月度護寺会物故者

精編院釋尼玉咲

7月30日寂 塚本咲枝(74)

今川町 塚本誠士様の母

徳華院釋尼晴春

8月2日寂 鈴木春美(92)

山ノ端組 鈴木淳様の母

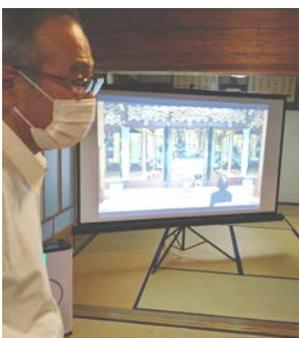
おしらせ
ホームページを一新

近々に順慶寺のインターネットのホームページが一新します。平成三十年の御遠忌法要に合わせ、御遠忌バージョンとなっていた

編集部短信

◆牧野篤先生を囲む会議開催ーさる七月二十九日、東京大学大学院教授で、地域再生などを研究されている牧野篤先生を囲んで教化検討委員会を開催。先生の活動内容をお聞きし、教化の方向を再検討した。

◆盆会に参詣多数ー八月七日に執り行った盆会は、参詣案内を須弥壇収骨をされた方に限ったが、法話も実施され、本堂と庫裏に密を避け用意したイス席はほぼ満席となった。



盆会でのリモート法座(岡川経康氏撮影)

編集雑記

ホームページを一新、「順慶寺の歴史」(本堂の再建・赤貧の時代を越えて)、「護寺会について」、「墓地について」、「順慶寺だより」、「スタッフ紹介」などの項目をつくりまます。製作は、住職と長年のつきあいのある(株)アイルが手がけています。

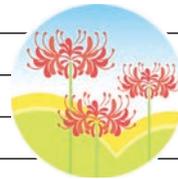
ここ数年、盆会にお参りされた方にご宝物を見て頂くことにしています。今年は、コロナで分散参詣を願う意味で、宝物と盆飾りを盆の終わりにまで片付けられないままにしています。しかし、これが裏目。大雨の湿気て宝物の数々が月末まで片付けられず、そのままになってしまいました。気候変動はこんなところにも影響します(住)。

お盆も終わりひと段落ですが、コロナの影響もあり家からあまり出ていません。ついつい、ゴロゴロと過ごしてしまいます。九月から始まる大学も遠隔授業になったので、より一層外出の機会がありません。体ばかり大きくなりなないように気をつけねば、と思うこの頃です(若)。



9月の主な行事予定

日	曜	行事内容	掃除当番
1	水		
2	木		木-1
3	金	コロナ対策により、諸活動は自粛中	
4	土	今後、ワクチンの接種状況により	
5	日	変更もあり得ます	
6	月		
7	火		
8	水		
9	木	大掃除(8:00～、順慶寺)	木-2
10	金		
11	土		
12	日	祠堂法要・俱会一处式(9:30～、順慶寺)	
13	月		
14	火		
15	水	教化検討委員会(14:00～、順慶寺本堂)	
16	木		木-3
17	金	21組門徒会総会(9:00～、東境町泉正寺)	
18	土		
19	日		
20	月		敬老の日
21	火		
22	水		
23	木		秋分の日 木-4
24	金		
25	土		
26	日		
27	月		
28	火	宗祖聖人御命日(7:00、順慶寺にて内勤め)	
29	水		
30	木		
10/1	金		



9月行事内容 詳細

祠堂法要・俱会一处式

9月12日(日)

午前9時30分 順慶寺

順慶寺に祠堂があがっている方に対する、祠堂法要を今年も厳修いたします。

本年は変異型コロナウイルスの感染拡大の影響が懸念されるため、密を避け、左記のように地域別分散型とさせていただきます。本堂、書院、庫裏にそれぞれ席を設け、七十名まで受け容れます。なお、本年も法話・お斎はとりやめとさせていただきます。

同日、今年五十回忌を迎えた方のお骨を、納骨堂下に埋骨する俱会一处式は実施いたします。

記

祠堂法要日程

9月12日(日) 午前9時半から30分ききみ

会所：順慶寺本堂 35名

同書院 15名

同庫裏 20名

○9時半～10時 今川地区・三河地域

お経中に焼香(70名まで)

○10時半～11時 泉田地区・尾張地区他

お経中に焼香(70名まで)

○11時半 俱会一处式

◎俱会一处式の案内のある方は、この時間に御参詣ください。

お知らせ

●祠堂法要の駐車場について

祠堂法要当日の駐車は、境内には三十台まで駐車可能です。その他、臨時に駐車場を設けます。法要の入れ替えがありますので、法要が終わりましました、密にならないよう速やかに退会をお願いいたします。

●祠堂法要のコロナ対策について

新型コロナウイルスの変異種が猛威を振るっている関係で、ワクチン接種を終了されている方でも、マスク着用をお願いいたします。

●本年帰敬式延期について

三年に一度報恩講初日に、順慶寺本堂にて帰敬式(お剃刀)を実施していますが、本年は新型コロナウイルス拡大のため、来年に延期することといたします。御了承ください。

じゅんこのときめき歳時記 カボチャ

みなさん、こんにちは。今年の盆は、大雨で大変でした。九州や西日本の各地で豪雨の被害に遭われた方に、心からお見舞いいたします。今年の夏はあまり日射しがなく、気温も上がらなかったため、農作物に大きな被害があったようですが、近くの畑を歩いてみると、カボチャが色づいていました。カボチャは、十月三十一日のハロウィンに使うし、冬至に小豆がゆと一緒にいただくので、もう少しあとのものかなあと考えていたら、九月に色づくものだと知りました。

絵手紙と

おんなト南瓜届けけり

凡茶

